

平成 27 年度 札幌医科大学医学部同窓会  
幹事会・講演会・総会・懇親会を顧みて

第 42 回札幌医科大学医学部同窓会の幹事会・講演会・総会。懇親会は 7 月 11 日（土）にさっぽろプリンスホテルパミール館で開催されました。

幹事会では田中会長が議長となり議事録に示してあるように議題を討議しました。

講演会では 45 期から吉永敏弘先生が「不眠が健康に及ぼす影響」と題して、また 35 期からは内海久美子先生が「認知症に対する地域包括型のケアシステムの構築」と題してご講演してくださいました。

総会では逝去されました 35 名の会員の奉読が西里卓次副会長からありご冥福を祈り黙祷を捧げました。遠藤高夫副会長が議長となり幹事会における討議事項が報告されました。社会福祉貢献賞は 35 期内海久美子先生の「認知症患者に対する地域と一体となったケアシステムの構築により地域医療に多大な貢献をしたこと」に対して授与されました。

写真撮影後懇親会に移り、35 期の倉敏郎先生が進行役となり田中会長、島本理事長・学長、堀尾医学部長からご挨拶を戴きました。田中会長は同窓生相互の親睦のみならずできるだけ大学と連携協力していきたいと抱負を語りました。島本学長は施設整備構想が着々と進み、昨年度は体育館と保育所を小グラウンドに新築し、その跡地に教育研究棟を新築すべく整備中であり、現在病院の西側に西棟を新築するため準備中である。平成 29 年度中には教育研究棟と西棟が完成する予定であると話され、さらにホリ株式会社と包括連携協定を結び「しそハスカップゼリー」を販売することとなり売上の一部が大学の収入になるため是非皆さんに購入してもらいたいことと、同窓会が主体となって大学グッズとしてネクタイを作ってもらい海外の大学から来る人に大学のお土産を贈呈することが出来、おおいに活用していることをお話になりました。最後に学長としての任務は来年の 2 月で終わるので同窓会での挨拶はこれが最後となると述べられました。

続いて堀尾医学部長から国試対策に同窓会からご協力いただき、「お陰様で今年度の国試合格者は全国の上位に入ることができ感謝したい」と述べられるとともに、文科省のカリキュラムの変更により臨床実習が 72 週間に延ばされたため関連病院に実習の一部をお願いしなければならなくなったのでよろしくお願ひしたいとのスピーチを戴きました。

倉先生の乾杯で懇親会が始まり、木村永一先生が会の進行役を務めました。途中、秋野元学長と金沢大学元学長の岡田晃先生（公衆衛生学）からスピーチを戴きました。秋野元学長からは創基 55 年・開学 50 年の時にネクタイなどの大学グッズを作ったが現在は残っていないので新しくネクタイを作ったことは喜ばしいことであり、学生や職員などにも購入して頂きたい。継続して販売することが大事であり、また大学の校歌や同窓会歌・寮歌などの CD にするなどして復活させることも重要であり、さらに同窓会誌にはもっと大学の情報を載せてほしいと熱弁を振るわれました。岡田晃先生は御年 86 歳になり、同窓会に出席できるのはこれが最後になると思われるので元気のうちに金沢から出てきたと話され、

札幌医大に在職中は大学紛争で苦勞したおかげで人との付き合いが上手になり、金沢に移ってからは学長職も無事勤め上げ、学術会議の第 7 部会長をうまくこなしてきたことなどをお話しされました。

40 数年にわたり同窓会の会計幹事を務めてきた高氏昌先生が、常任幹事会で辞任を表明され幹事会で承認されたので懇親会場で田中会長が感謝の言葉を述べ、花束と記念品を手渡されました。最後は 45 期幹事の吉永敏弘先生の乾杯で懇親会は盛大裡に終了しました。

[記念写真](#)